

CASBEE® 京都-新築

標準システム

■使用評価マニュアル: CASBEE京都-新築 (2011年版) | 使用評価ソフト: CASBEE京都-新築2011(v.1.2)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	五健堂第4倉庫	階数	地上3F
建設地	京都府京都市伏見区横大路官本2-	構造	S造
用途地域	工業地域、法22条地域	平均居住人員	0人
気候区分	地域区分IV	年間使用時間	2,880時間/年
建物用途	工場	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2013年9月	評価の実施日	2013年5月10日
敷地面積	11,074 m ²	作成者	(株)ノム建築設計室 畠山
建築面積	1,125 m ²	確認日	2013年5月10日
延床面積	2,365 m ²	確認者	(株)ノム建築設計室 下岡

外観パース等
図を貼り付けるときは
シートの保護を解除してください

2-1 建築物の環境効率 (BEEランク&チャート)

BEE = 0.6 ★★★★★

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂ (温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 100%
②建築物の取組み 88%
③上記+②以外の 88%
④上記+ 88%

(kg-CO₂/年・m²)

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです(kg-CO₂/年・m²)

2-3 大項目の評価 (レーダーチャート)

2-4 中項目の評価 (バーチャート)

Q 環境品質 Qのスコア = 2.3

Q1 室内環境 Q1のスコア = 3.0

Q2 サービス性能 Q2のスコア = 2.2

Q3 室外環境 (敷地内) Q3のスコア = 1.8

LR 環境負荷低減性 LRのスコア = 2.8

LR1 エネルギー LR1のスコア = 2.8

LR2 資源・マテリアル LR2のスコア = 3.0

LR3 敷地外環境 LR3のスコア = 2.7

3 設計上の配慮事項

総合	その他
用途が倉庫業を営む倉庫であるため、倉庫業の許可基準を満たす計画とした。	0
Q1 室内環境 屋根は断熱しており、階高も十分に確保した。	Q2 サービス性能
LR1 エネルギー	LR2 資源・マテリアル
	LR3 敷地外環境 同一敷地内に既存建物があるため、外観の調和を計る計画をした。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Building Environmental Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生涯の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される